

H27-B-2 深度35.68~35.73m 薄片拡大写真の撮影位置を示す緑枠位置 (No.61) の修正

従前

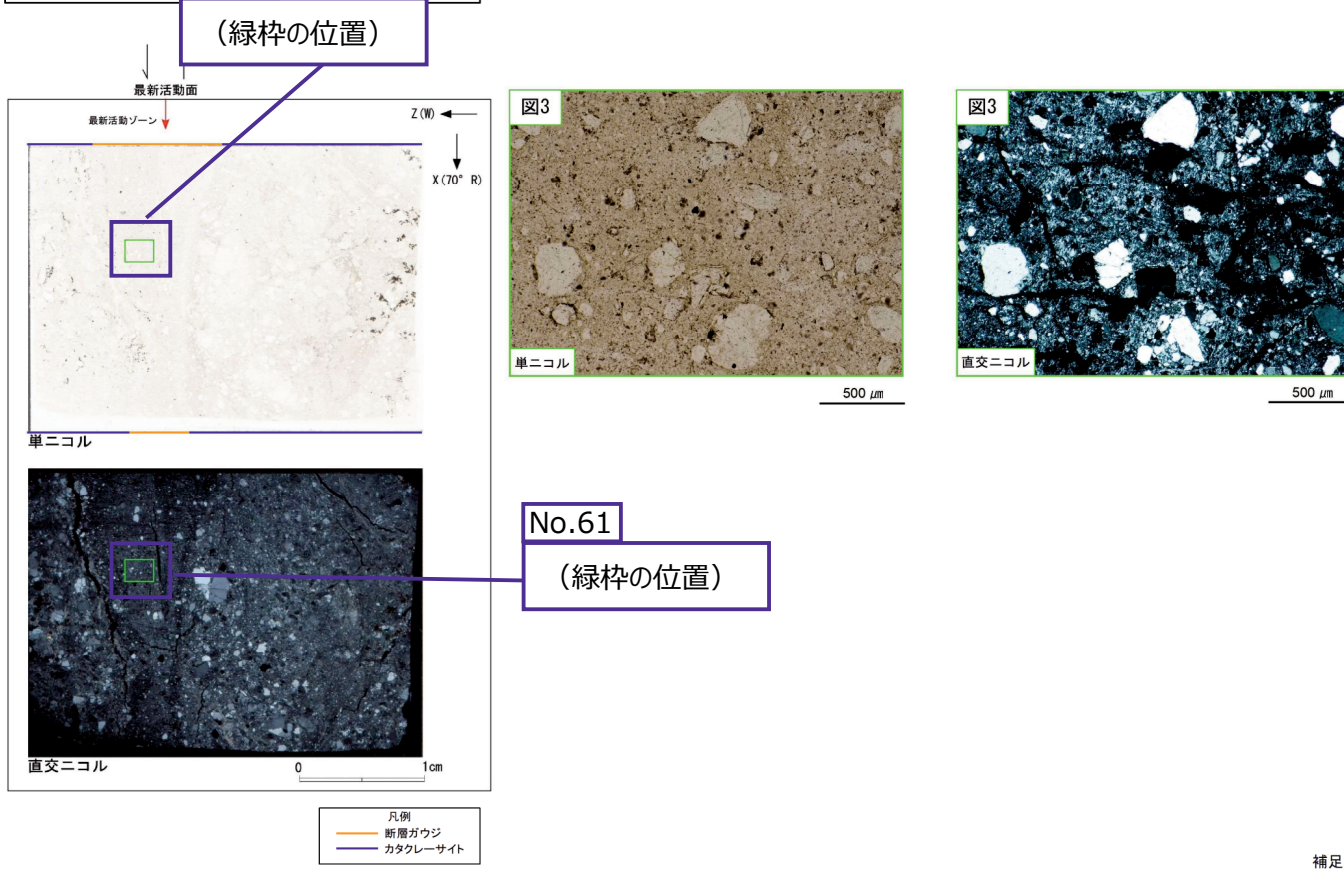
見直し後

令和3年7月16日提出
 敦賀発電所2号炉 敷地の地形, 地質・地質構造について (コメント回答)
 補足説明資料3 薄片観察結果 (その1)
 補足3-137頁

令和3年7月16日提出 補足説明資料3に追記(青太枠)

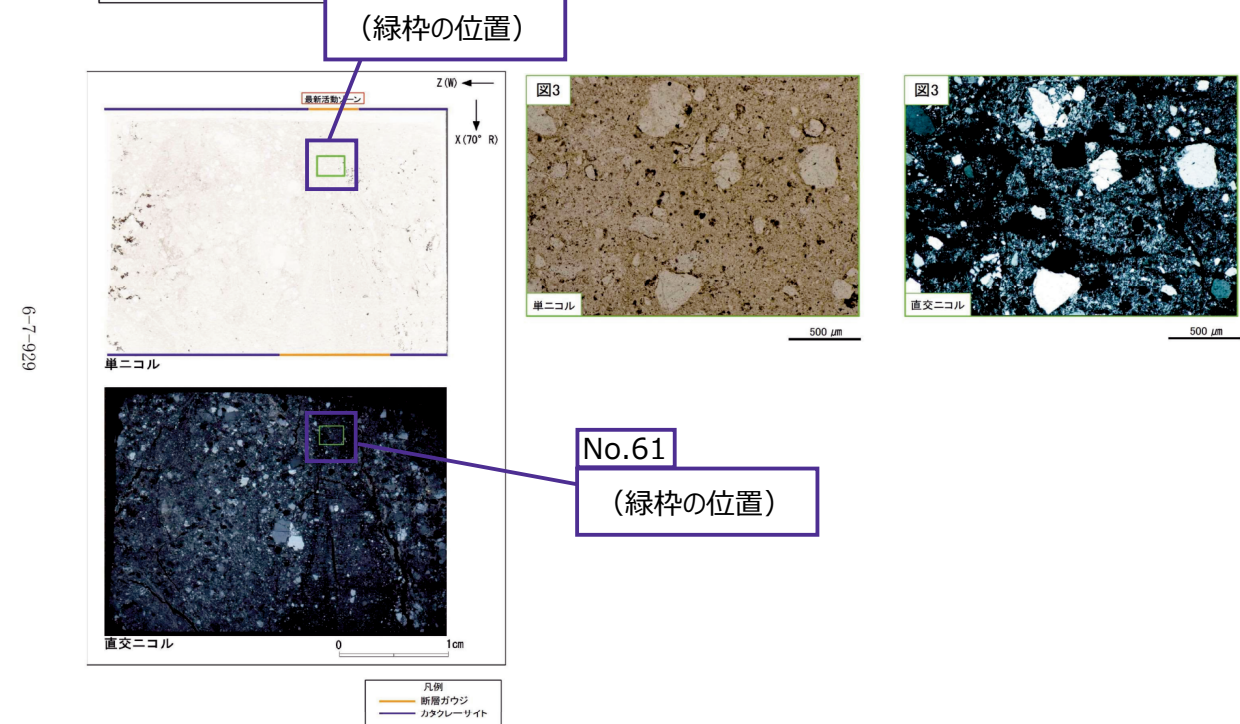
H27-B-2 深度35.68~35.73m 非モデル化破碎部 (3/3)

- ・最新活動ゾーンには, 以下の特徴が認められる。
- > 岩片は少ない。(図3)
- > 丸みを帯びてい



補足3-137

- ・最新活動ゾーンには, 以下の特徴が認められる。
- > 岩片は少ない。(図3)
- > 丸みを帯びている岩片が多



第7.4.4.283図(5) 破碎部性状 H27-B-2 深度35.68~35.73m (変位センス, 薄片観察による断層岩区分(3/3))

※ No.60 X,Z方向の記載の修正に伴い, 薄片試料写真は上下左右反転している。

1. 変更内容、理由及び断層連続性評価への影響

- ・ 薄片試料のZ方向を180°変更 (No.62-1)

【理由】従前は写真の向きを180°逆方向に取り扱っていたため

- ・ Z方向の変更 (No.62-1) に伴い、変位センスを右ずれを伴う正断層に変更 (No.62-2)

【理由】No.62-1の変更に伴い、変位センスを変更

【断層連続性評価への影響】なし

2. 変更箇所

- a 最新活動面ブロックサンプル写真の向きを左右反転 (No.62-1)
- b 薄片試料写真の向きを左右反転 (No.62-1)
- c 変位センスを右ずれを伴う正断層に変更 (No.62-2)

H27-B-2 深度35.92~35.95m 薄片試料のZ方向 (No.62-1) を180°変更し, それに伴い変位センス (No.62-2) を変更

従前

見直し後

第833回審査会合

机上配布資料 1

敦賀発電所 2号炉 敷地の地形, 地質・地質構造について

参考資料 1 薄片観察結果

参考1-205頁

第833回審査会合 机上配布資料1に追記(青太枠)

No.62-2
左ずれを伴う逆断層

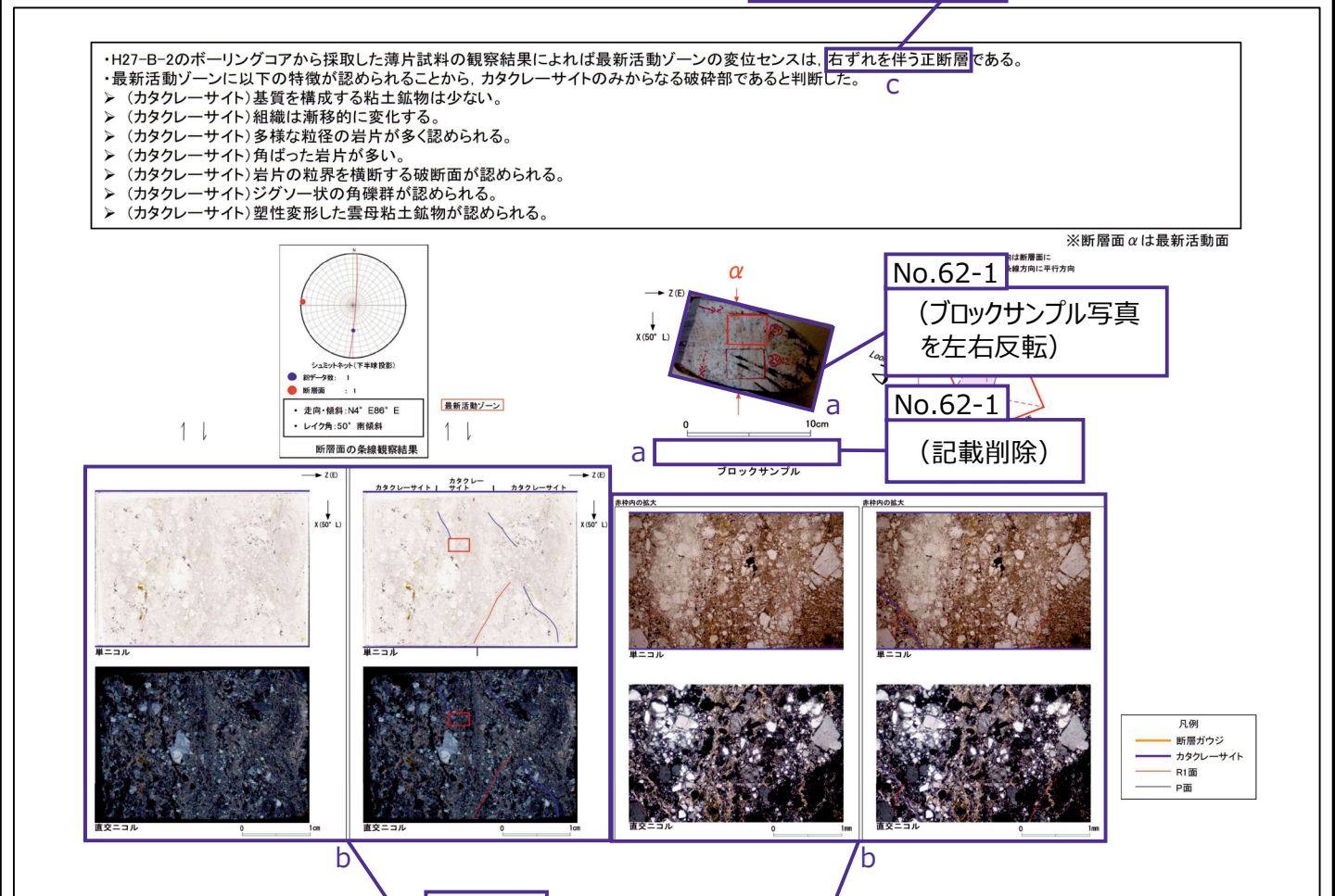
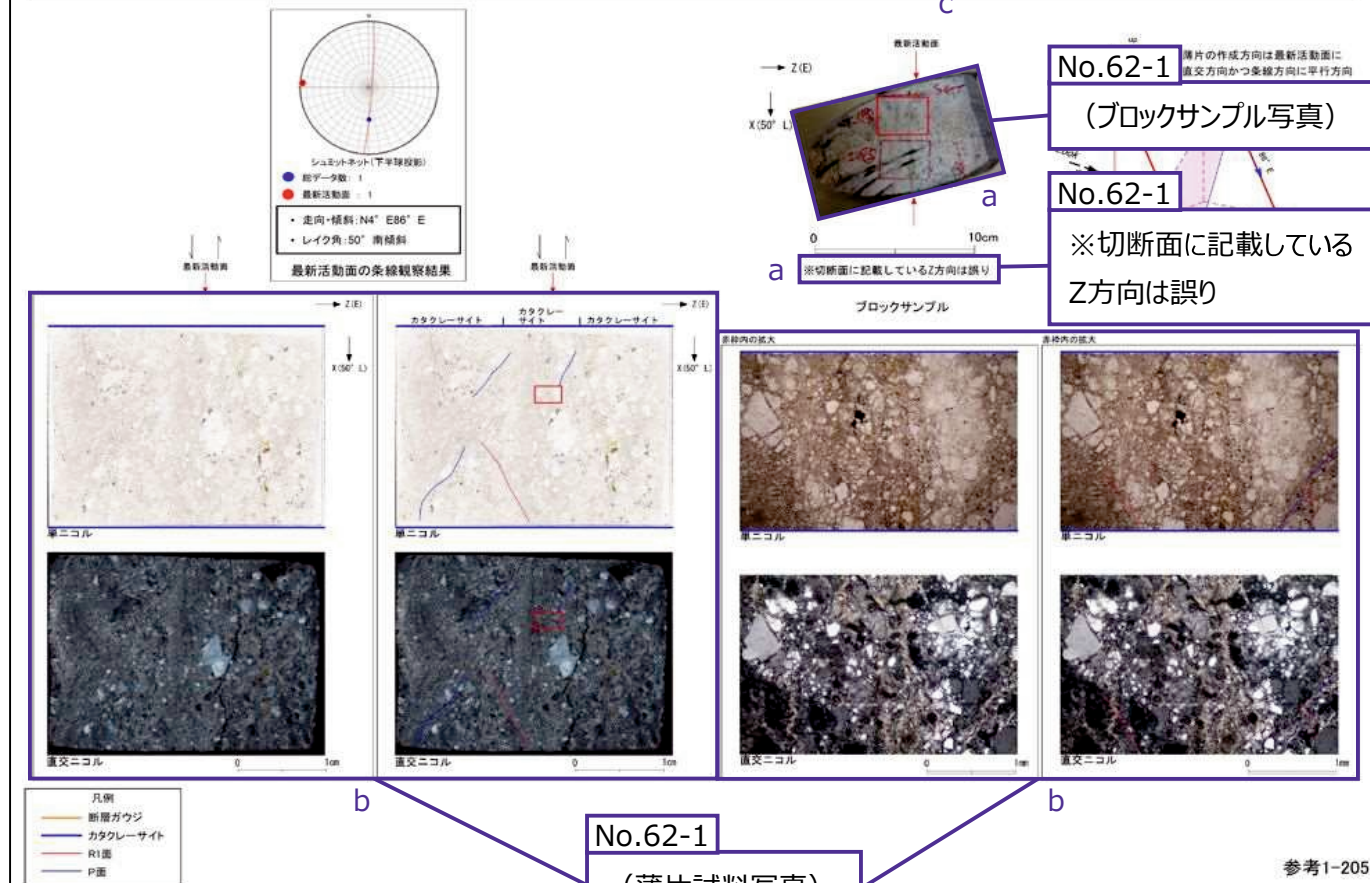
No.62-2
右ずれを伴う正断層

非モデル化破碎帯 薄片試料観察(H27-B-2 深度35.92m)

H27-B-2のボーリングコア(深度35.92m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは左ずれを伴う逆断層である。

・H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動ゾーンの変位センスは右ずれを伴う正断層である。
・最新活動ゾーンに以下の特徴が認められることから、カタクレーサイトのみからなる破碎部であると判断した。

- ▶ (カタクレーサイト) 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
- ▶ (カタクレーサイト) 組織は漸移的に変化する。
- ▶ (カタクレーサイト) 多様な粒径の岩片が多く認められる。
- ▶ (カタクレーサイト) 角ばった岩片が多い。
- ▶ (カタクレーサイト) 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。
- ▶ (カタクレーサイト) ジグソー状の角礫群が認められる。
- ▶ (カタクレーサイト) 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。



No.62-1
(薄片試料写真を左右反転)

H27-B-2 深度35.92~35.95m 薄片試料のZ方向 (No.62-1) を180°変更

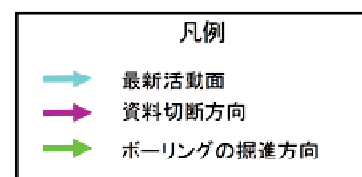
- 薄片試料の作製箇所について、試料切断方向が正しい（最新活動面に直交で、かつ、条線方向に平行）ことを確認した。
- 右の図はボーリングの掘進方向、最新活動面、試料切断面の正しい位置関係を図にしたものである。正しい位置関係とは、「試料切断面は最新活動面に直交で、かつ、条線方向に平行」の条件を満たすものである。試料で再現した3つの位置関係が図と相違ないことから正しく切断されていると判断した。（条線は最新活動面上で確認されているため、本ページでは表現されていない。）

試料切断方向確認資料 (H27-B-2孔 深度35.92m)

研磨片写真

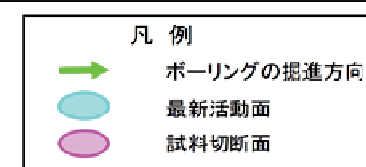
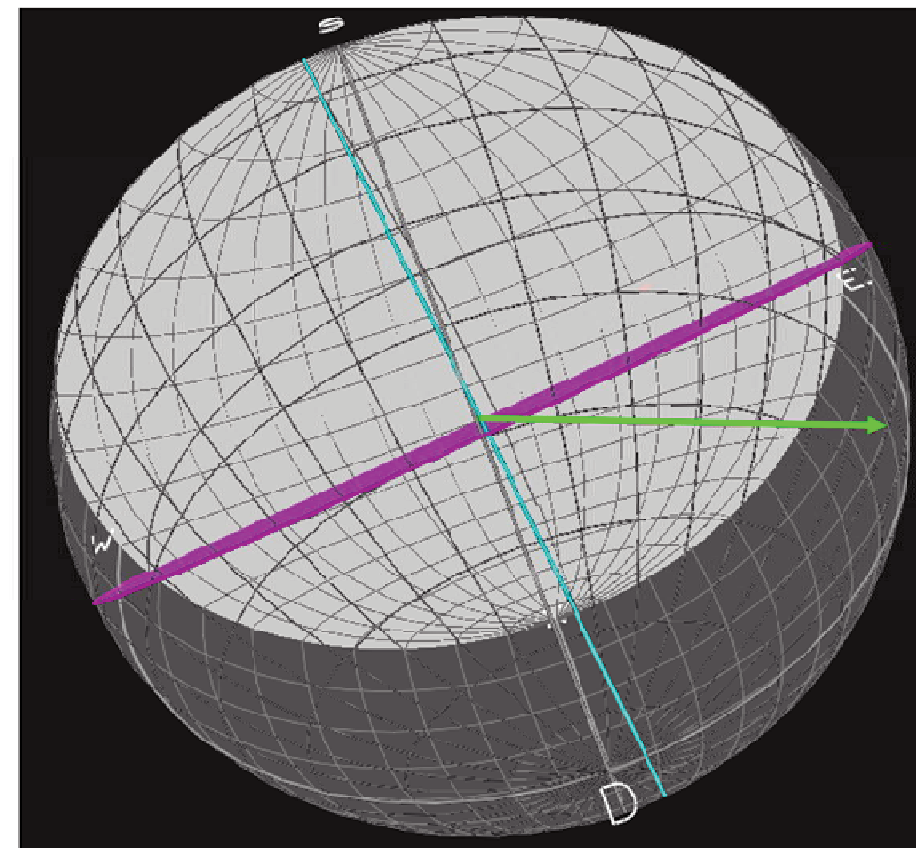


ボーリング掘進方向および最新活動面位置、試料切断方向については、コア写真を利用してその位置が適切であることを確認した。



5cm

ボーリングの掘進方向、最新活動面、試料切断面の関係を3次的に示した図

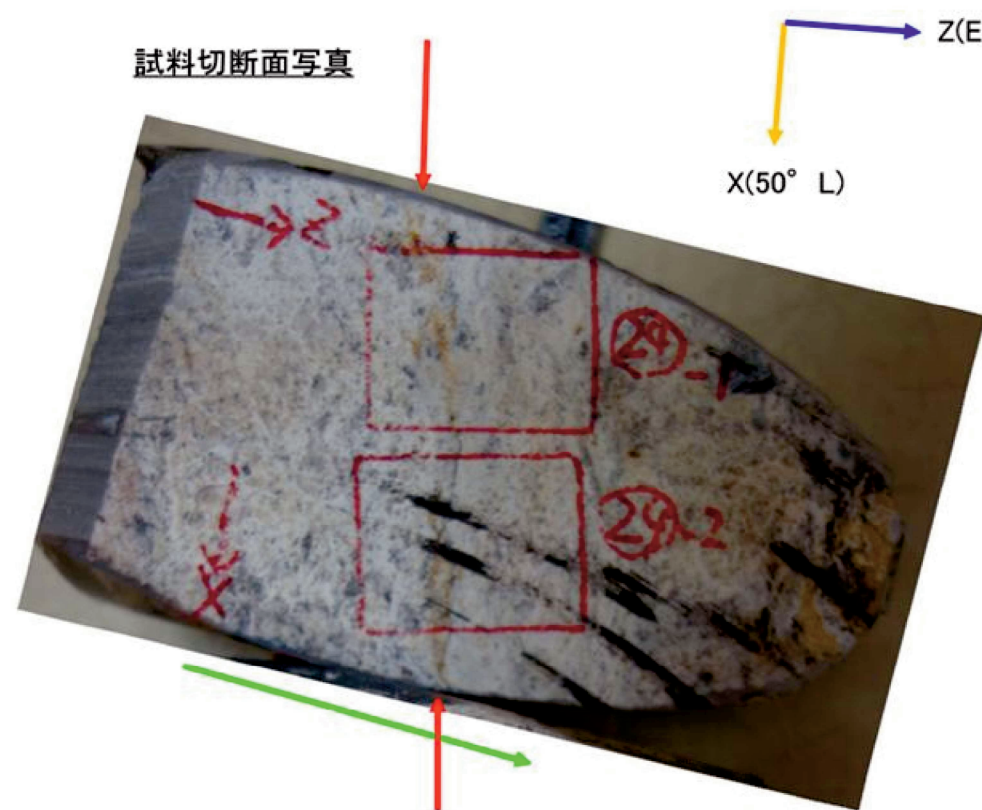


H27-B-2 深度35.92~35.95m 薄片試料のZ方向 (No.62-1) を180°変更

- 薄片試料の作製箇所について、試料の切断方向を確認し、下記の試料切断面写真に示したZ方向、X方向が正しいことを確認した。
- 右の図はボーリングの掘進方向、最新活動面、試料切断面、X方向、Z方向の正しい位置関係を図にしたものである。正しい位置関係とは、「試料切断面は最新活動面に直交で、かつ、条線方向に平行」の条件を満たすものである。試料で再現した5つの位置関係が図と相違ないことから正しく切断されていると判断した。
- 従前提示していたZ方向は、下記で示した矢印の方向と逆であったことから修正する。

試料切断面方向確認資料(H27-B-2孔 深度35.92m)

薄片作製位置は、肉眼観察により認定した最新活動面に沿って最も細粒化した部分を含み、試料の人為的な乱れのない箇所であることを確認した。

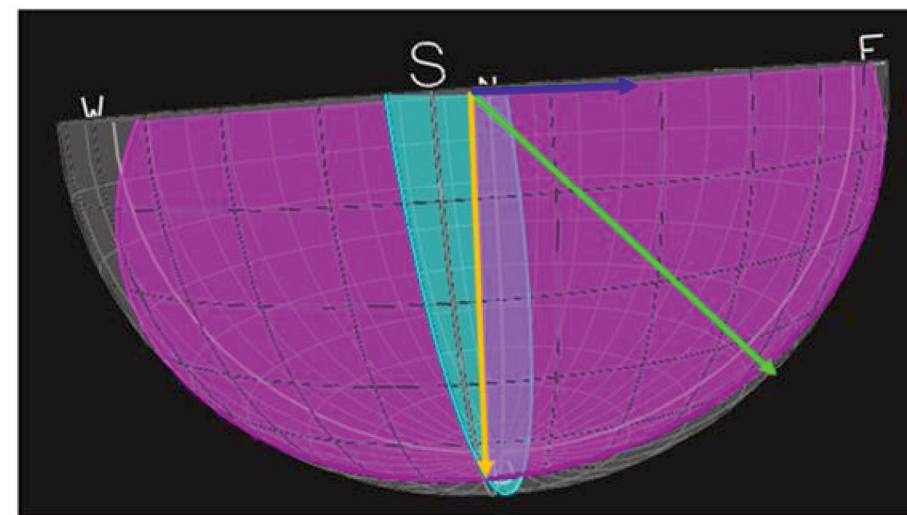


ボーリング掘進方向および最新活動面位置、試料切断方向については、コア写真を利用してその位置が適切であることを確認した。

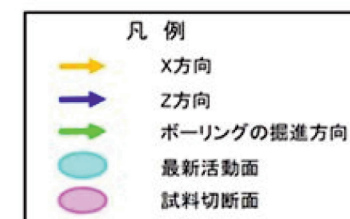


5cm

ボーリングの掘進方向、最新活動面、試料切断面の関係を3次元的に示した図



前頁の3次元方向図の視点条線方向に正対して見た図であるため、図上で条線が表示されていない。



X:条線方向(下向きを正とする)
Z:断層面の法線方向(上盤側を正とする)

1. 変更内容、理由及び断層連続性評価への影響

- ・断層ガウジの幅を0.1cmに変更。

なお、断層岩区分の総合評価においてカタクレーサイトと評価したため、性状一覧表では記載を「－」としている（No.63）

【理由】最新の観察結果/総合評価に伴う変更

- ・薄片試料写真の向きを修正（No.64）

【断層連続性評価への影響】なし

2. 変更箇所

- a 断層ガウジの幅を「－」に変更（No.63）
- b 断層岩区分をカタクレーサイトに変更（No.63）
- c ブロックサンプル写真を上下反転（No.64）
- d ブロックサンプル写真の注記を修正（No.64）
- e 薄片試料写真を上下反転（No.64）

H27-B-2 深度48.08~48.12m 断層ガウジの幅 (No.63) を変更

従前

見直し後

第833回審査会合
机上配布資料2
敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について
参考資料2 性状一覧表
参考2-183頁

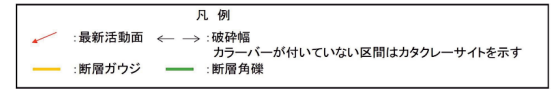
第833回審査会合 机上配布資料2に追記(青太枠)

15 非モデル化破砕帯
性状一覧表(11/19)

断面番号	深度	破砕帯幅	方位	傾斜	性状	備考	性状
127-B-2 (観測45)	31.75	31.98	N7E	70W	0.5	(No.59で説明)	32
127-B-2 (観測45)	34.31	34.40	N10E	40W	10.8	(No.62-2で説明)	35
127-B-2 (観測45)	35.36	35.46	N65E	70W	0.7	(No.62-2で説明)	36
127-B-2 (観測45)	35.36	35.73	N7W	52W	4.1	(No.1126-追14で説明)	36
127-B-2 (観測45)	35.93	35.93	N4E	40E	2.3	(No.1126-追14で説明)	36
127-B-2 (観測45)	35.93	35.95	N40E	80E	2.2	(No.1126-追14で説明)	36
127-B-2 (観測45)	48.08	48.12	N20W	130E	3.1	(No.66で説明)	49
127-B-2 (観測45)	54.73	54.77	N6W	70W	4.2	(No.67で説明)	55
127-B-2 (観測45)	60.26	60.69	N21E	80E	36.5	(No.68で説明)	60
127-B-2 (観測45)	61.00	61.00	-	-	-	(No.66で説明)	61

断面番号	深度	破砕帯幅	方位	傾斜	性状	備考	性状
127-B-2 (観測45)	31.75	31.98	N7E	70W	-	(No.59で説明)	32
127-B-2 (観測45)	34.31	34.40	N10E	40W	10.8	(No.62-2で説明)	35
127-B-2 (観測45)	35.36	35.46	N65E	70W	0.7	(No.62-2で説明)	36
127-B-2 (観測45)	35.36	35.73	N7W	52W	4.1	(No.1126-追14で説明)	36
127-B-2 (観測45)	35.93	35.93	N4E	40E	2.3	(No.1126-追14で説明)	36
127-B-2 (観測45)	35.93	35.95	N40E	80E	2.2	(No.1126-追14で説明)	36
127-B-2 (観測45)	48.08	48.12	N20W	130E	3.1	(No.66で説明)	49
127-B-2 (観測45)	54.72	54.77	N6W	70W	4.2	(No.67で説明)	55
127-B-2 (観測45)	60.26	60.69	N21E	80E	36.5	(No.68で説明)	60

(No.66で説明) (No.67で説明) (No.68で説明)



※1 断層岩区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
 ※2 締めボアリングの場合は、計測値を補正した値を記載
 ※3 単純しない成分については「-」を記載(固成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
 (上記以外) データを取得していない箇所

* 断層岩区分の総合評価においてカタクレーサイトと評価したため、性状一覧表では記載を「-」としている